



# R. I. 第2630地区 高山中央ロータリークラブ WEEKLY REPORT

2014～2015 年度 高山中央 RC 会長テーマ  
「心に響き 心に残り そして心が熱くなる」

◆会長 永家 将嗣 ◆幹事 高原 清人 ◆会報委員長 岩垣津 亘 ◆会報担当 足立 常孝

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

### <出席報告>

	会員数	出席会員	出席	Make-up	出席率
本日 1014 回	51 名	50 名	37 名	—	74.00%
前々回 1012 回	51 名	50 名	41 名	3 名	88.00%

## 『親子で体験 “木製あんどん作り”』

<点 鐘> 会長 永家 将嗣

<会長の時間> 会長 永家 将嗣

皆さんこんにちは、本日は先週に引き続いての移動例会です。先週はロータリーデーでポリオ撲滅募金をして頂きました皆さんのお蔭で 75,623 円ものお金が集まりましたありがとうございます。

今回も昨年に引き続き昨年「親子でマイ箸づくり」でお世話になりました高山工業高校さんにご協力をいただきました。高木校長先生改めましてお礼を申し上げます ありがとうございます。

高山工業高校さんは ものづくりの学校として県のリーディングプロジェクトに選ばれました。リーディングプロジェクトとは教育改革です 高山工業高校さんはサテライトスタジオで物造りのアピールを行いそして物を販売しています。工業系の学校では今まで製作から販売まで行うという試みはありませんでした。そこに目を付けられてのプロジェクトです。そして「親子でマイ箸づくり」でコラボした春慶組合の皆さんや三嶋和ろうそくのご協力を頂き春慶塗りの LED 照明を使った木製行燈を商品化されました。

今回の行燈づくりはそのノウハウを使った企画です。今回参加されたお子さんには少しでも物づくりの喜びを味わって頂けたら幸いです。本日は長時間にわたり伊藤委員長を始め担当委員会の皆さまそして会員の皆様にはご協力を頂きますが よろしくお願い致します。



### <高木校長先生挨拶>

少子化の波は工業高校の存続に関わる大変な状況です。ものの作りを大切に考えて、子供たちに体験させることは貴重だと思います。



奉仕プロジェクト委員長

伊藤 正隆



会場：高山工業高校

≪第一部≫9:00～12:00

12:00～ 例会・昼食

≪第二部≫13:00～16:00

午前の部 28 組 60 人

午後の部 28 組 56 人

協力生徒 23 名

(建築インテリア生徒 15 名・電子機械生徒 8 名)

協力先生 6 名

(建築インテリア 2 名・電子機械 3 名・校長先生)

この事業は、ロータリー財団補助金を申請し行われた「高校生による小学生のもの作り体験教室」で、親子で木製あんどん作りを体験して頂きました。

高山工業高校の担当されたリーディング実行委員の先生と生徒さんの指導のもとで、作業手順に基づき進めます。開会式の後、2 班に分かれ作業開始。電磁磁気実習室で LED ろうそく作成、組立実習室で行燈本体作成、それぞれ完成後、1 時間 15 分で教室を入れ替わりあんどんを完成させます。LED ろうそくは、ハンダコテやドライバーを使い基盤作りを行います。あんどんは、6 種類の長さで切られた木工材を自由な発想で組み立、ボンドで接着し枠を作ります。

最後に、アンケートにご協力頂き、一人ずつ完成作品を写真にとりその後解散になりました。



そして参加してくれた皆さんには世界でたった一つの行燈を作ってください。お父さんお母さんと一緒に作り上げた行燈はお家に持って帰ってもらいます。それでは怪我には充分注意して作業にかかってください。よろしくお願いします。

### 高木校長先生挨拶

県立高校改革リーディングプロジェクト事業の一環で今回親子で体験もの作り教室を開催致しました。このような機会を体験されてもの作りの大切さを感じて頂ければ幸いです。



## ★★受付★★



## ★★開会式★★

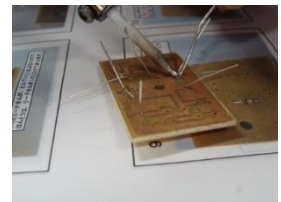
### 永家会長挨拶

皆さんこんにちは、私は今年度高山中央ロータリークラブ会長の永家と言います。本日はたくさんの方に参加して頂きありがとうございました。今回の企画は当初午前 20 組午後 20 組の 40 組で募集しましたが、あっという間に定員一杯になりましたが、少しでも多くの親子の方に参加して頂きたいとの思いから学校側と協議しさらに 20 組増やし 60 組の親子の方に体験して頂けるようになりました。



本日はものづくりの学校として県のリーディングプロジェクトに選ばれた高山工業高校の生徒さんに指導してもらいます。電子機械科の生徒の皆さんには発光ダイオードの基盤づくりを そして建築インテリア科の皆さんには行燈づくりを指導してもらいます。生徒の皆さんよろしくお願いします。

### ～LEDろうそく作成～



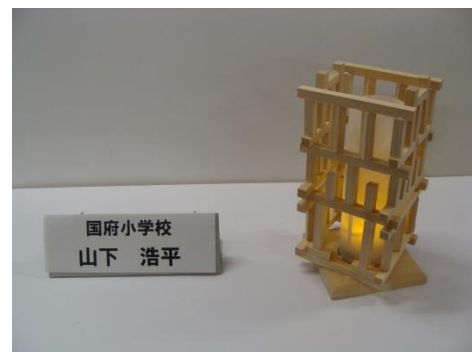
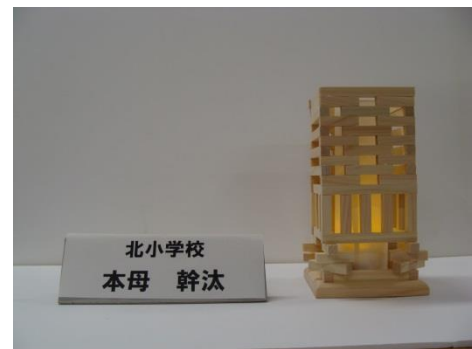


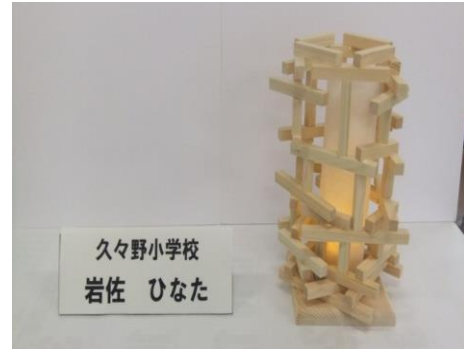
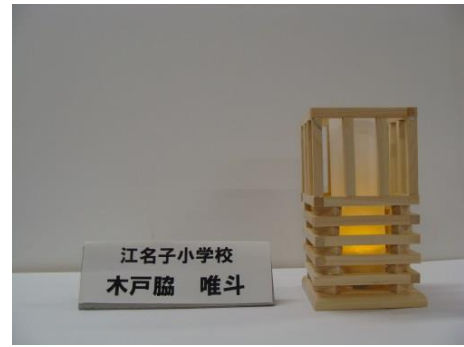


～あんどん作成～



～完成作品～





~~~~~アンケート内容~~~~~

<保護者>

- ◆ 難しそうな工作でしたが、プリントや高校生のフォローや工夫されたキットで子供だけで作ることが出来、この取り組みは素晴らしいと思います。
- ◆ 昨年は「箸づくり」を体験しました。今年は昨年より少し難しかったけど完成品がとてもきれいでやりがいがありました。
- ◆ とても楽しめました。高校生の生徒さんがとてもしっかりしていて好感が持てました。
- ◆ はんだ付けは難しかったけど楽しかった。来年もあれば是非参加したい。(多数)
- ◆ 家では見られない子供の意外な一面が見え、物作りが好きなのだと言う事。子供の夢が広がったと思います。
- ◆ 手伝ってくれた高校生は優しく丁寧に教えてくれ良かったです。
- ◆ 木の組み立ては発想力があるので良い頭の体操になりました。
- ◆ ゆらゆら揺れるLEDはすごいと思いました。
- ◆ 子供がとても楽しそうに作品作りに没頭している姿が見られて良かったです。

<児童>

- ◆ 大変だったけど最後に完成して明かりが付いた時はすごく嬉しかった。
- ◆ はんだ付けが難しく大変だったけど、楽しく作れてうれしかった。(多数)
- ◆ やりがいがあり楽しかった。優しく教えてくれたのでキチンと出来た。また来たいなあ。
- ◆ 木の組み立ては色々工夫してできたので良かった。
- ◆ 来年も再来年もやりたいです。
- ◆ 親子の絆が深まりました。
- ◆ 高校生のお兄ちゃんに優しく教えてもらった。(多数)
- ◆ はんだ付けは最初怖かったけどだんだん慣れ、今日参加して良かった。
- ◆ また機会があればやりたい。(多数)